

## 平成20年度質の高い大学教育推進プログラム審査結果表【選定】

機 関 名	明治学院大学				
取 組 名 称	心理支援論：心理学教育の新スタンダード				
取組学部等	心理学部				
申 請 区 分	教育課程の工夫改善を主とする取組				
整 理 番 号	A11133	申請の形態	単独	取組期間	3年
申請の分類	専門基礎	体験活動		FD・SD	
キーワード	心理支援力, 循環型教育システム, コミュニティ資源, 白金こころ塾, 参加型エンパワメント評価				

### <選定理由>

本取組は、心理学部の教育目標である「心理支援力のある人材の育成」という視点から「心理支援論」を学士課程教育に構造化することを基本において、大学をとりまくコミュニティ資源を積極的に活用することを前提として学生に「心理支援力」を体得させようとするプログラムとして高く評価できる。

特に「心理支援論」を基軸とする学士課程教育の遂行には、心理学教育の各領域（基礎領域、特別支援教育領域、臨床領域）の全教員が関与する体制が組まれており、また、「体験活動サポート室」を中心にしてコミュニティ資源の活用やボランティア活動に学生をつなぐことに努めるとともに、「白金こころ塾」の開講、卒業生・在学生・（現・旧）心理学科教職員からなる「白金サイコロゼ」の開設など、特有の試みがみられる。平成17年度からスタートしている教育課程を基盤とするこのプログラムは、循環型教育システムの形成、参加型エンパワメント評価の導入という意味でも期待される。

ただし、このプログラムの遂行には予め心理学部としてのアドミッションポリシーがさらに明確にされ、学生への意識づけが入学時から強化される必要もあると思われる。また、「白金こころ塾」については、地域との接点という意味でその機能は多様である点も考慮して、カリキュラムの重要な要因という性格を損なわないよう配慮されることが望まれる。

取組の概要【1 ページ以内】

**1. 基幹科目「心理支援論」による心理支援力の育成**

こころの世紀と称され、人々の日常生活での不安の高さとその解決策が希求される現代において、心理学を学んだ者に対する社会の期待は多様な領域でますます大きなものになっている。こうした社会ニーズに応えるために、心理学の基礎領域、臨床領域、特別支援教育領域を専門とする心理学部の全教員が関わり、心理学の全領域にわたって総合的に学修させる4年間の構造化された必修プログラムである「心理支援論」を開設した。そこでは、事象の認知や集団行動、情動調整のメカニズムや原理などを解明する基礎心理学に基づく学修と、自己の精神的健康を維持し、同時に周囲の人々を心理的に支援するための応用心理学の学修により、心理支援力を修得させる。心理支援力とは共感性、対人関係スキル、ストレスマネジメントなどの、いわば「人間力」に基づくものである。一般企業、地域や家庭、行政機関、保育・教育機関、社会福祉施設など多様な場面において、いかなる年齢の人にも、いかなる支援を必要としている人にも、いかなる状況においても適切に対応することができ、支援を求めている人に共感的に関わり、問題解決を図ることができる心理支援力を身につけるための本プログラムこそが心理学教育の新スタンダードにふさわしい。本プログラムの特徴は以下の4点である。

**2. 本プログラムの特徴**

**① コミュニティ資源の活用と体験活動サポート室の開設**

港区・品川区・横浜市などの自治体、保育・教育機関、地域のNPO法人、心理学科卒業生や心理学研究科修了生のネットワーク組織（白金サイコロゼ）などとの連携により、支援に関する体験活動・学習の場を提供してもらいつつ、教育機関・研究機関や社会福祉施設などの実践現場の連携を強化する。こうした体験活動・学習を体系的・効率的に運営するため「体験活動サポート室」を設置する。

**② 循環型教育システム、および参加型エンパワメント評価の導入**

大学内での講義・講話・ワークショップ→大学外の教育・研究機関での学修→地域・コミュニティでの体験活動→大学内での講義につながる循環型教育システムにより、学年進行に対応した心理支援力を学修することができる。学部生に対する博士前期課程と博士後期課程の大学院生による指導、および教員による大学院生への指導といった階層的スーパービジョン・システムも導入する。また、1年生から4年生までの間に定期的に、心理支援力の修得目標に基づく効果測定のほか、学部生同士の相互評価、学部生・大学院生・教員による参加型エンパワメント評価を導入し、本プログラムの精緻化を図る（概要図参照）。

**③大学とコミュニティをつなぐ「白金こころ塾」の開講**

現代社会における心理支援ニーズや支援の実際について、当事者、第一線で活躍する支援実践者・実践研究者による「白金こころ塾」を、授業の一環として行うと同時に、地域にも開放して双方向的交流を図り、学生とコミュニティ成員との緊密な関係を形成する。

**④心理学教育の新スタンダード、およびコミュニティの心理支援システムの構築**

こうした心理学の新スタンダードの遂行を通して、地域の心理支援システムを開発・構築する。

